

生徒のみなさんへ

生徒指導主事 丹野一輝

生徒のみなさん、お元気でしょうか？きっとたくさんの不安を抱え、友達にも先生方にも会えず、寂しい思いを抱えていることと思います。

先生方も、みなさんと会えず、非常に寂しい思いで一杯です。みなさんの元気な声が聞こえない校舎内も、寂しい思いを強くしています。。

そんな中、先生は非常にうれしく感じていることもあります。それは、長中生がこの休校の意味をしっかりと理解し、生活していることです。大きな事故や事件に巻き込まれたという話がなく、さすがだなと感じています。

しかし、全国的に見ると、中学生が事件・事故に巻き込まれることが多発しています。そこで、長中生にも、もう一度次のことを意識して生活してもらい、学校が再開したときに、全員が揃って元気に登校できるようにしてほしいと思います。

①臨時休校の意味をもう一度考えてみましょう。この時期だからこそ、本当に自分が学びたいことに時間を使えることができると思います。

②不要不急の外出はこれからも控えるようにしてください。万が一、外出しなければいけないときは、事故等には十分に気をつけてください。

特に、自転車による交通事故には気をつけましょう。仙台市内でも、事故が起きています。

③空き巣や詐欺などが全国的にふえています。不審な人物が来たり、不審なものが届いたりした場合などは、警察に相談するとともに、学校にも連絡をください。

仙台では感染者が確認されない日々が続いていますが、日本国内でも世界中でもまだまだ新型コロナウイルスは猛威をふるっています。安心できる状況ではありません。

先生の願いは、『長町中学校の生徒が、幸せに暮らす』ことです。そのためにも、もう一踏ん張り、頑張りましょう！

みなさんと笑顔の花を咲かせる日を信じて！！